



三者懇談、ありがとうございました

21日(木)まで行われた三者懇談では大変お世話になりました。今回の懇談を通して、多くの生徒が来年の受験校を決定しました。また、私立高校と国立高専を受験する生徒や保護者の方には願書の記入をしていただきました。かなり緊張されたことと思います。わたしたち職員も、あらためて身の引き締まる思いがいたしました。生徒のみなさんは、これで迷いが吹っ切れたのでしょうか？そして、自分が希望する進路への思いが、いよいよ身近に感じられたのではないのでしょうか？早い人は1月中旬から、多くの人は1月下旬からいよいよ入試が始まります。



これからますます寒さが増してきます。ちまたでは、インフルエンザ流行のきざしが見られ、風邪の症状を訴える人も増えてきています。体調管理には十分気をつけて、有意義な冬休みにして下さい。

なお、今回の三者懇談で、公立高校の志願校が決まらなかった人は、1月16日(火)に再度三者懇談を行う予定です。

この1年、生徒の皆さんはもちろん、保護者の方々にも大変お世話になりました。来学期もどうぞよろしくお願ひします。どうぞよいお年をお迎えください。

お疲れさまでした！

この12月末をもって、現生徒会執行部と専門委員長の任期が終了します。3学期からは、先日の生徒会役員選挙で当選した2年の新生徒会長・副会長を中心とした、新しい執行部および専門委員長が活動を始めます。

終わってしまえばあつという間の出来事のように感じますが、やはりそれぞれの「想い」が行動となり、学校や行事を支え、みんなの学校生活を楽しいものに、そしてよりよい方向に導いてくれたことは間違いありません。そんな活動を進めていく中で、確実に皆さんは人間的に成長したと思います。

学校のために尽くしてくれた皆さんに、大きな拍手を贈りたいと思います。本当にお疲れさまでした。そして、ありがとうございました！



7月の全校集会のひとコマ

今、やるべきことは…？

この冬休み、どのように過ごしますか？「やっぱり勉強」そうですね。しかし、勉強していると必ず焦ってきます。「あ、これわからん」「あ、これもわからん」「覚えていない、どうしよう…」焦りが次の焦りを生み、最後は自分が嫌になってきます。

でも、それはちゃんとやっている証拠です。やっていなければ気づかなかったでしょう。「自分が分かっていないことが分からない」ということが、一番危険なことなのです。ですから、今の時点で「分かっていないことが分かる」方が有利です。やるべきことがはっきりするからです。「でも、それがたくさんあって…」
…大丈夫！たくさんあるから確かに間に合わないかもしれませんが、それでも、やっただけは実力になります。やらないより断然良いのです。

推薦をもらえた人も、そうでない人も、立場は同じです。それは、あせらずじっくりと力をつける必要があるということです。特に、推薦をもらえた人、「学科試験がないから、楽でいい」なんて思っははいけませんよ！一発勝負で一般受験する人より、むしろモチベーションの面で劣る分、不利になりかねません。あくまで一般受験で合格する力をつけていく、そのための地道な積み重ねが、今君たちに求められています。休み明けには、最後の学力診断テストも予定されています。それでは、健闘を祈ります！

連絡事項です！

三者懇談でお渡しした各校の受検料振り込みを済まされて、26日の15時までに添付用の用紙を提出して下さい。国立高専は、写真と切手をお願いしていますが、それも忘れずにお願いいたします。国立・公立の推薦については、志願理由書を25・26の両日で学校で仕上げさせますが、山口県の公立推薦はその時にお子さんに受検料を持たせて下さい。以上、よろしくお願ひいたします。

中学校最後のクラスマッチ、盛り上がりました！！

さまざまな行事で、「中学校最後の〇〇」と謳い文句がどうしてもきてしまいますが、クラスマッチも最後になりました。どんな競技がしたいかいつも通り各クラスで聞き、結局バスケットボールとバレーボールに決定！



何と言っても受験を間近に控えた大事な身、お互いに怪我をせぬよう、させぬように気をつけながら、和気あいあい、楽しい雰囲気ですべてのクラスマッチは終了しました。最後の大会は1位の競技を両クラスで分け合って幕を閉じました。清々しさの余韻の残るクラスマッチでした。

